

# 議会だより もろっか

令和元年8月

令和元年 第162号

編集 議会広報編集特別委員会  
発行 諸塚村議会

九州玉入れ選手権大会  
主催 日本玉入れ協会 九州協会

## もくじ

就任のごあいさつ	2
一般会計補正予算	3
諸塚村議会構成表	4
一般質問	5~8
第9回諸塚村子ども議会	9
議会活動報告	10

# 令和元年度 第2回諸塚村議会定例会 (6月14日開会)

## 令和元年度 一般会計補正予算

**2億3千8百万円の補正額 総額31億3千5百万円**

### 主な補正事項

#### 【歳入】

- ・ 過疎対策事業債 .....88,200千円
- ・ 森林郷創生基金繰入金 .....107,000千円
- ・ 地方創生推進交付金 .....6,650千円
- ・ プレミアム商品券事業 .....6,322千円
- ・ 道整備交付金事業補助金 .....10,000千円

#### 【歳出】

- 〔総務〕 ・ 庁舎玄関屋根修繕 .....2,754千円
- ・ 川の口地区消火用水管敷設 .....20,000千円
- 〔企画〕 ・ 商工青年部婚活事業補助金 .....1,000千円
- ・ 村制施行130周年事業補助金(16公民館) .....1,600千円
- ・ 森林公園施設等改修事業 .....20,000千円
- ・ 移住・創業支援金補助金 .....3,000千円
- ・ 村制施行130周年PR事業(環境共生仕様レジ袋) .....1,100千円
- 〔住福〕 ・ 砂田の元ミニ公園整備 .....3,300千円
- ・ プレミアム商品券事業 .....15,422千円
- ・ 簡易給水施設整備事業補助金(7施設) .....7,805千円
- 〔産業〕 ・ 井戸園芸団地防風ネット改修事業 .....7,900千円
- 〔建設〕 ・ 林道開設改良補助事業 .....18,048千円
- ・ 道路新設改良村単独事業 .....65,820千円
- ・ 道整備交付金事業 .....20,000千円
- ・ 道路維持事業 .....6,700千円
- 〔教育〕 ・ 教職員住宅改修事業 .....4,500千円
- ・ 荒谷小学校グラウンド改修事業 .....6,130千円
- ・ 中央公民館改修検討資料作成 .....1,000千円
- ・ クロスカントリーコース改修事業 .....1,422千円



役場庁舎



クロスカントリー大会

## 「就任のごあいさつ」

若本 幸徳

4月の任期満了に伴う村議会議員選挙において決意も新たに8名の議員が誕生いたしました。

8年ぶりの選挙における緊張感を胸に今後の議会活動に活かしていかなければなりません。この度の議会構成におきまして、不肖、私が議長に再度就任させていただくことになりました。今更ながら責任の重大さを再認識させられているところでございますが、円滑な議会運営を目指し、村政発展に微力を尽くして参りたいと思います。

さて本村も5月1日に令和へと元号が移り変わる新時代の幕開けの年に置村130年、自治公民館組織並びに村婦人連絡協議会発足以来70年の記念すべき年となりました。私たちの誇りである諸塚村をここまで築き上げてこられた先人の皆様に改めまして深く敬意を表します。村民のたゆまぬ努力によりこの節目の年に至るまで発展を続けてきた本村も、数年前からの少子高齢化による人手不足は一層深刻さを増しております。しかし、この問題は全国的であり、一村のみでの解決は困難であると思われまます。議会もこの人口減少対策として9月に特別委員会を設置して関係機関とともに国県と連携を図りつつ、常に村民の皆様の声に耳を傾け、課題解決を目指し活気あるむらづくりに新たな気持ちで団結して取り組んで参る覚悟でございます。

今後とも議会に対しますご指導、ご協力賜りますよう切にお願い申しあげまして就任のあいさつといたします。



# 一般質問

## 今回三名の議員が質問をしました。

### ① 諸塚村割引商品券見直しについて



尾形 浩一 議員

**尾形議員** 現在15,000円の商品券を3割引きの10,500円で購入しているが、20,000円の商品券を2割5分引きで15,000円の商品券を発行したら、商工会の売り上げ高も上がると考えますが如何でしょうか。もつと地元のお店を利用して、お互いがこの村に住み続ける、そんな運動も取り上げて欲しいと考えますが村長の考えを伺います。

**西川村長** 割引商品券は当初から、割引率30%を維持しており、周辺自治体に比べて

### ② バイオ乾燥機導入について

**尾形議員**

以前から木材の付加価値を上げるには何が良いか、検討していましたが、日本強靱化木材(株)のバイオ乾燥技術が一番良いと思います提案するものです。柔



西川村長

らかくて軽い杉、檜がケヤキやチークのような高級材になり、防腐、防虫、不燃である事から、諸塚村のFSC認証材の価値を更に高めてくれるものと思いません。その製品を活用して、小、中、高校の椅子、机を作る家具工場までもって行けたらと考えますが、村長の考えを伺います。

**西川村長** 昨年、黒葛原公民館で大川市の工場視察の際に、産業課職員も同行しその復命を受けました。低温で時間をかけて乾燥させること

### ③ 椎茸の販売について

**尾形議員**

先日の椎茸入札の結果が、経済連が2,800円、諸塚が3,200円。これは私が高校を卒業して帰って来た50年前と殆ど変わりません。このままでは、原木椎茸の生産は落ち込んでしまふと危惧するところで、何とか、加工品を開発して販売に繋げたいと思

い、村の加工グループの力を借りて実現したいものだと思います。私は餃子の具に椎茸を小さく刻み、甘辛く炊いて試食した事もありません。餃子でしたら、冷凍でもよいしFSC関連でCOC認証の椎茸を売りにした戦略はいかかと、村長の考えを伺います。

**西川村長**

乾燥椎茸の販売価格は変動が激しく、平成13年前後は中国産との競争で暴落し、25年、26年は東日本大震災の風評被害等で大きく値下がりした時期がありました。問屋の事情で価格が左右される為、諸塚村は平成7年から、村とJA諸塚、ウッドピア諸塚が協力して直販事業に取り組んで来た。又、加工品の商品開発も必要で、加工グループの協力やもろっこほうすの販売等、地道な努力を重ね関係機関と協力して販売促進を進めていきたいと考えま

す。

## 定例議会において下記の案件について審議された。

- ① 特別職(村長・副村長・教育長)の給与に関する条例の一部改正
 

村長(月額)	656,000円→676,000円
副村長(月額)	529,000円→545,000円
教育長(月額)	505,000円→520,000円
- ② 議会議員の報酬に関する条例の一改正が執行部から上程され審議され承認
 

議長(月額)	272,000円→280,000円
副議長(月額)	203,000円→209,000円
常任委員長(月額)	193,000円→199,000円
議員(月額)	188,000円→194,000円
- ③ 諸塚副村長の同意案件について(同意)
 

藤崎 猪一郎 氏
- ④ 監査委員同意案件について(同意)
 

黒木 聖士 氏

令和元年5月8日開催の第1回臨時議会において、新しい議会構成が決まりました。

## 諸塚村議会構成表

議長 若本幸徳

副議長 田原尚美

総務常任委員会(4名)	
委員長	岩本國和
副委員長	甲斐光徳
委員	山本多喜弥
委員	若本幸徳

産業建設常任委員会(4名)	
委員長	中田政雄
副委員長	尾形浩一
委員	梅田義輝
委員	田原尚美

議会運営委員会(6名)	
委員長	梅田義輝
副委員長	岩本國和
委員	中田政雄
委員	尾形浩一
委員	山本多喜弥
委員	甲斐光徳

議会広報編集特別委員会(4名)	
委員長	山本多喜弥
副委員長	尾形浩一
委員	甲斐光徳
委員	田原尚美

日向東白杵広域連合議会議員	
	若本幸徳
	岩本國和

議会選出監査委員	
	山本多喜弥

宮崎県北部広域行政事務組合議会議員	
	岩本國和
	中田政雄

人郷地区衛生組合議会議員	
	岩本國和

社会福祉協議会	
理事	若本幸徳
評議員	田原尚美
監事	山本多喜弥

国保運営協議会	
	岩本國和
	甲斐光徳

観光協会	
理事	若本幸徳

①村政に対する政治姿勢について



甲斐 光徳 議員

甲斐議員 諸塚村の最も重要な案件は過疎対策(急激な人口減少に伴う将来像・急激な時代の変化に伴う諸塚村の方向性)。村民が希望を持つて、安心して暮らせる諸塚村になるために、行政の役割の重要性は勿論、村民も過疎対策について真剣に取り組まなければならぬ時代。統一地方選も終わり、新体制になり新たな村政をこれからの4年間、村行政・議会共に「諸塚村の将来の安定・村民が安心して暮らせる諸塚村」の創造、実現を目指すためにも危機感、緊張感を持って活発な議論を進めるとともに、それぞれが時代の変化に遅れることなく先取りをしていく大変重要な時期と思われま

す。村民の多くから、村政の方向性、村民を導いてくれる政策はどうなっているのか、5年先・10年先のビジョンが全く見えない、村民目線で考えてくれる政策も必要だと多くの声があるのも事実であります。過去の4年間の振り返りと反省、2期目のスタートにおいて村民の身近な生活に直結する政策も含めて、具体的にどのような村政の方向性、政策を村民に届けていくのか村長の考え方を伺いたい。

西川村長

諸塚村の4大産業を基本に、継続して村政を進めている。人口減少が喫緊の課題であるが、国の過疎対策、過疎法の有効活用、各種制度事業の導入、村単独で様々な取り組みを行っている。村政を預かるものとして村政座談会等の要望等をなるべく拾い上げ実施に向けた取り組みや、時間が取れる時に村内を見て歩き、状況や課題を確認している。村の財政も確認しながら村の方向性を進めていきたい。

甲斐議員 村政の継承は重要である。諸塚村の4大産業は崩すことなく産業振興に努めていくことは大変重要なことである。しかしそのときの自治体を牽引する首長であれば、独自の施策(カラー)を立案することも必要だと思っている。2期目のスタートに当たって無難な政策ではなく、変化を持たせる、西川健村長独自のカラーを村民も期待していると思う。財政が絡むことであり、厳しい制約があるとは思いますが考えを確認したい。

西川村長

独自のカラーというところであるが、基本的に先人たちが営々と守ってきた政策の中で、人口減少に歯止めがかからないこの現実の対策を総合戦略のなかで、皆さんの知恵を借りながら総合的に取り組んでいくべきだと感じている。地道に村民の皆さんの色々な意見を聞きながら、喫緊の課題から取り組んでいくのが一番いいと思う。

甲斐議員 令和の時代は地方の時代と言われています。地域の声を届けるのは勿論のことであるが、地域の実情に合った政策提案、あるいは事業提案を国・県に対して議論を展開していくのも村政の重要な役割と思う。急に解決するものではないが、十分に地域の声を聴いて頂き、村政が村民のためにあると思うのでその考え方を確認したい。

西川村長

不易流行という言葉があります。守ることは守り、変えられないことは変えない、それでも変えていくべきことは変える、その様に思っています。村政座談会を始め、喫緊の要望があるなど、財政的にも人的な面もあるし、そちらのほうに追われる部分もあるので、ご理解を頂きたい。村民の皆さんの財産や命を守る事が最優先であるので、総合的に判断して進めていきたいと考えている。

甲斐議員

まずは行政も変化していく、議会も変化をしてい

しても入りすぎない、口をなるべく出さない等の方向転換をしながら、民間の活力を大いに発揮できる事業所にするのが望ましいと考えているが、村長の考えを確認したい。

西川村長

現在、両組織とも村からの直接の指揮系統はなく、特に観光協会は現金出納や組織の意思決定の決済も含めて、行政は直接の関与はしていません。ただ、経営的に経験不足な点も多いことと、村の補助金や委託料の適正な額や使い道のチェック機能を維持するために、村も参画する経営委員会が経営数値の管理や各種規定等の重要事項へのアドバイザーを行っている。村行政側も人手不足で、観光事業・特産品販売事業とも選任の担当はおらず、逆に十分な気配りが出来ていないのが実情であり、行政が入り過ぎという懸念は当たらないと思う。むしろ外郭団体だけに頼らずに、村として取り組むべき課題に対してできる行政側の体制作りが必要と考えている。

甲斐議員 大変大事なことは、優秀な人材が多くいる中で、人材育成という点を踏まえて、働く人たちが自分達の力で自分の達の方で、情報発信や諸塚のPRをしていくことが望ましいと考える。行政との連携・協議は必要と思いますが、働きやすい環境の下で職員の資質を高めていくことが重要である。

西川村長

観光協会・ウッドピア諸塚だけに限らず、関係団体・関係機関 関連施設において、組織は人で成り立ち、和をもってそれが第一にならないと物事は先に進まない。同じ目的に向かって一丸となつて取り組むべきであろうと考える。

甲斐議員

行政が支援をしていくのは大変重要な事であるが、その上にはしっかりと職場で働く人たちの考えを尊重し、雰囲気の良い職場になるよう、今後ご検討をお願いしたい。

③鳥獣害被害対策について

甲斐議員

鳥獣害被害対策については、行政は勿論、猟友会のご協力により被害軽減に努めて頂き感謝を申し上げます。シカ・猪等の農作物等への被害も減少とまではいきませんが、猟友会の個体捕獲、特別捕獲隊による駆除も引き続きお願いしたいと思えます。しかし、最近では猿による被害が多発しています。椎茸は勿論、畑等の野菜等にも被害が出ています。猿も30頭前後と年々増加の傾向にあり、農作物への被害が大きく経済的にも大きなダメージがあり、生産意欲の低下等危惧されています。現時点では農作物の被害だけに留まっていますが、心配されるのが生徒・児童・幼稚園児の登下校時における猿からの人的被害も予想され、保護者等を含め、村民からも不安を抱いており、事故があつてからでは遅いと思われるので早急な対策が必要と思われる。村長の考えを確認

西川村長

猟友会のご協力により、ここ数年で年間840頭程の捕獲実績があります。が、農林産物への被害が減少しているところまではありません。ご指摘の猿の農林産物への被害と集落・学校、通学路周辺の人たちは大変危惧しているところですが、村では地形的な不利な条件もありますが、近隣町村で実績のある罠の設置を、国庫補助事業を活用し、今年度導入の予定です。餌付けが必要で、群れで捕獲しなければ群れが分かれる等の注意も必要であり、猟友会のご協力と地元へのご理解を頂きながらこの対策を進めていきたい。

甲斐議員

深刻な問題でありますから、早急な対応で村単独も併せて早急に実施することは可能か。

西川村長

現在、申請の段階でヒアリングを受けている状況で、現時点で着手が出来ない状況です

く、村民も変化をしていく、令和の時代は地方の時代と言われていますので、議論をしっかりと行い、一体となった取り組みをお願いし、この質問を終わります。

②村が支援する外郭団体への行政のあり方

甲斐議員

村が支援する団体、観光協会・ウッドピア諸塚においては諸塚村の雇用創出の受け皿として村民の経済効果に大きく貢献している外郭団体です。又、民間の活力が大いに発揮できる事業所でもあり、優秀な職員からの情報の発信など諸塚村の将来に希望が持てるものと確信しています。行政からの指導等も重要な要素でありますが、行政も入り過ぎると民間の持つている能力が最大限に活かされない傾向もあるのも事実であります。社団法人として移行した事業所ともなれば、伸び伸びと働け、能力が最大限に発揮でき、行政とは違った様々な発想の転換も期待でき、雰囲気の良い職場になると期待しています。行政は補助金の支援を

甲斐議員

猿自体が年中いる状況の中で、単独でも補助事業でも早めの対策が必要。早めに実施していただき、被害が出ないようお願いして質問を終わります。

④国際交流員 (ALT)について

甲斐議員

諸塚村は現在、ネパールのマルファア村との国際交流を継続実施しています。交流20周年の記念行事に参加させて頂きました。経済状況は決しているとは言えませんが、そこで暮らす人々はとても大らかで真面目であり人間性の良さを強く感じたところです。男女問わず好奇心旺盛であり、交流には強く関心があるように思います。数か国の会話もできる方も多く、特に英語は堪能であり諸塚村との交流にも大いに貢献できるものと感じました。ところで、外国語指導助手として本村では毎年雇用していますが、交流を続けているマルファア村からの交流員としての採用も検討してみるのが変化があり、意義がある

# 令和元年度 第9回「諸塚村子ども議会」開催!

## 子ども議会開催の目的

- 子どもたちが日常生活の中で気付いた学校や地域の問題について、昨年度に引き続き「小さな実現可能な子どものための子ども議会へ！」の考えにより、子どもたち(学校)が村づくりの鍵になる取組の視点から、発展的な取組にしていくことも大事なことである。元気な村づくりに子どもたちの力は欠かせないものであり、子どもたちが主体的に関わることのできる取組を通して、子どもたち自身が喜びを感じることが出来る一連の活動にしていく。
- 将来の諸塚の「村づくり」について、村をよくするための思いや願いを発表し、子どもの豊かな発想を、これからの村づくりの長期構想に生かしていく。
- 子ども議会の企画運営や村議会の見学・傍聴等を通して、議会制度や民主的な政治について理解する。



## 第9回「諸塚村子ども議会」 議事日程

令和元年7月29日(月) 午前9時 開議

1. 開 会
2. 議事日程

### 日程第1 一般質問(14名)

No.	学校名	学年	一般質問 題名
1	諸塚中	3年	諸塚村の産業振興について
2	諸塚小	6年	せせらぎの里の福祉機器やお金について
3		6年	林業の人手不足について
4		6年	人口減少の対策について
5		6年	人口減少の対策について
6		6年	大型店舗について
7		6年	諸塚村の店舗について
8		6年	お店を作る計画について
9		6年	村民グラウンドの利用について
10		6年	人口減少や林業の人手不足への対策について
11		荒谷小	6年
12	七ツ山小	6年	風力発電の活用について
13	諸塚中	3年	諸塚村の観光振興について
14		3年	諸塚村の福祉政策について

若本議長の議事進行に基づき、村内小学校6年生11名と諸塚中学校3年生3名から、諸塚村の産業や観光振興、人口減少対策などについて鋭い一般質問が出されました。各課長が、それに対する丁寧な答弁を行い、最後に西川村長が全体講評を行いました。

3. 閉 会

ものと考えられますが考えを確認したい。

### 西川村長

西川村長 国際交流協会を中心  
にタイ王国のスリン県並びにネパール王国マルファ村との国際交流を続けています。主として民間ベースの相互訪問を重ねてきました。が、世界的な経済不況や当  
事国の国内政治の不安定化、大規模な災害などの影響もあり、あまり活発な状況にはなっていない。マルファ村との交流は訪問団への参加希望も少なくなっているのも現状である。国際交流員やALTの招聘についてはその目的や狙い、費用と効果について協議をしていくことが肝要である。来年度から学習指導要領も改訂され、小学5・6年生の英語が正式な教科となる。子供たちに本場の英語を学んで頂くために母国語である国からのALTが望ましいと考える。

### 甲斐議員

甲斐議員 JETプログラムの中での人材派遣をしているのが現状なんです。最大で5年間はALTとして市町村

に滞在できるようになっており、1年増えることに給与は増額していきませんが、交付税措置の算定に入られませんが、事業の進め方も非常に厳しい状況の中で、マルファ村との継続交流をしているのでこの機会に交流員としての招聘も、今後インバウンドが予想される中で早めに取り組んでほしいとの事もありました。

### 甲斐教育長

甲斐教育長 国際化はこれから加速的に進んでいくと思っております。ただ、今の段階では複数の国際交流員とALT2人以上の方を同時に招聘するのは、財政的な事もありますので、厳しいと思っております。

### 甲斐議員

甲斐議員 今すぐ国際交流員やALTを招聘するのは厳しいとは理解できませんが、人口減少に伴う働き手の確保やインバウンドが身近に迫ってきている状況の中で、今後検討いただきたいと思

## 生活支援ハウスの再開に向けた取り組みについて



田原 尚美 議員

### 田原議員

田原議員 特養施設せせらぎの里は、介護職員の退職に伴う人材不足のため、支援ハウスの休園を余儀なくされている状況です。村は、昨年新規採用者に5年間で100万円支給、施設は給付型奨学金制度を設けた。この制度を利用して、今年度1名の新規採用につながったことは、明るいニュースでもある。今後、新規採用者も含めた施設職員の皆さんが定年を迎えるまで安心して働いていただけるような環境の整備が求められる。村民の安心安全の拠点として一日も早い支援ハウスの再開が待たれるところであるが、現状と今後の取り組み

みについて、村長のお考えを伺います。

### 西川村長

西川村長 昨年9月から高齢者生活福祉センター派遣であった職員及びパート職員を特養本体に戻し、人材不足による夜勤の軽減を図っている。ベテラン介護福祉士の情報収集、せせらぎの里への就職あっせんや人材派遣会社へもお願いして、派遣依頼も行っており、あらゆる手を尽くして、人材確保に当たっているが、充足するに至っていない。できるだけはやく再開できるように、努力を重ねてまいります。

### 田原議員

田原議員 国際交流の話の中で、諸塚村がマルファ村と交流をしているということ、そういう交流を通して、マルファ村からこの介護の施設に担い手不足解消のために働きに来ていただけるよう体制をつくっていくのも手かなと思っております。

### 西川村長

西川村長 外国人労働力については、これは言葉の壁もありかなり高度な技術、目は離せないし、入所者の身の安全とか考えた場合には、より慎重じゃないといけない。わらにもすがる思いはあるが、幅広い面から考えていくべきであろうと思う。

### 田原議員

田原議員 大変な問題であるという事は、わかっている。これから皆の行き着く先がせせらぎの里であるので、あの手、この手で何とかいい経営ができるように、支援ハウスの再開ができるように、行政の皆さんもしっかり取り組んでいただくことをお願いする。

### 西川村長

西川村長 村民みんなが考えなければいけない問題であると思う。そうしないと対応できないということである。

# 議会活動報告

月	日	内 容	場 所
4	3	戦没者追悼式	中 公
	21	統一地方選挙(村長・村議)	村 内
	23	議員当選証書交付式 当選議員懇談会	委員会室 委員会室
5	8	第1回臨時会(初議会)	議 場
	10	入郷地域開発期成同盟会議長会 東白杵郡議長会定期総会(議長)	日向市 日向市
	17	延岡地区村人会	延 岡 市
	20	九州中央自動車道沿線議会期成会理事会(議長)	延 岡 市
	21	日向市・東白杵郡議長会定期総会(議長)	日 向 市
	23	県町村議長会各郡会長会(議長)	宮 崎 市
	24	入郷地域開発期成同盟会役員会(議長、 総務・産建常任委員長)	美 郷 町
	25	宮崎地区村人会	宮 崎 市
	27	県選出国會議員との懇談会(議長)	東 京 都
	28	全国会主催正・副議長研修会(議長、~29日)	東 京 都
31	県乾しいたけ生産者大会(~6月1日)	宮 崎 市	
6	4	県町村議長会臨時総会(議長)	宮 崎 市
	14	第2回定例議会 川内村政座談会	議 場 川 内
	21	七ツ山村政座談会	七 ツ 山
	23	九州玉入れ選手権大会	村 体 育 館

月	日	内 容	場 所
6	26	塚原村政座談会	塚 原
7	1	県町村議長会新人議員研修会	宮 崎 市
	5	荒谷村政座談会	荒 谷
	8	入郷地域開発期成同盟会要望活動	延岡・日向市方面
	9	黒葛原村政座談会	黒 葛 原
	10	九州中央道沿線議会協議会合同幹事・理事会(議長)	高 千 穂 町
	11	南川村政座談会	南 川
	12	松の平村政座談会	松 の 平
	16	日向・東白杵広域連合議会	日 向 市
	17	飯干村政座談会	飯 干
	18	立岩村政座談会	立 岩
7	19	川の口村政座談会	川 の 口
	24	議会運営委員会正副委員長研修 小原井村政座談会	宮 崎 市 小 原 井
	25	郡議長会定例議長会(議長、~26日)	福 岡 県
	29	子ども議会	議 場
		国道327号外4路線整備促進期成同盟会総会(議長)	日 向 市
		高速道路建設促進期成同盟会総会(副議長)	宮 崎 市
	みすず会(議長)	宮 崎 市	
	30	日向市・東白杵郡議長会提言活動(議長)	宮 崎 市
	31	滝の下村政座談会	滝 の 下
		諸塚村政座談会	諸 塚

## 随 想

「夏を乗り切ろう」

中 田 政 雄

今年の梅雨明けは例年よりも遅い梅雨明けで、他の地域に比べると雨量的に少なかったと思うし、梅雨らしくなかった珍しい年と思う。

さて、これからがいよいよ夏本番となり、暑さとの戦いも然ることながら台風に伴う豪雨への不安も高まる季節となった。平成17年の台風14号以来、14年近く大きな災害が発生していないのは幸いなことであるが、全国的に見ると大きな災害が頻発している状況であり、短時間雨量は想定外の半端ない数値であることを考えると、予断を許さないことは確かである。

まずは身の安全の確保が一番。夏バテをしない体力、気力を持つてこの夏を乗り切ろうではありませんか。



## 編 集 後 記

今年の梅雨は中々明けません、ジメジメして心もスッキリしません、この広報が発刊する頃には明けるだろうと思います。

さて、今年は統一地方選挙があり、議会構成も替わりまして、下記の4名で議会広報の編集委員になりました。

年4回の発刊ですが、皆様に分かりやすい充実した広報に取り組みますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。(山本)

(編集委員) 山本多喜弥 尾形浩一 甲斐光徳 田原尚美

## 議会傍聴してみませんか？

6月14日(金)開催の議会定例会には、21名の方に傍聴いただきました。次回の定例会は9月11日(水)開催予定です。

お気軽に議会事務局にお尋ねください。

お問い合わせ：議会事務局

☎ 65-1130(直通)